

# Press Release

平成 18 年 11 月 10 日

報道関係各位

東芝情報システム株式会社

ネットディメンション社、東芝情報システムが  
組込み機器向け 3D マルチメディアコンテンツエンジンで連携を発表。  
～組込み向け「MatrixEngine embedded」の販売連携、開発連携を発表～

東芝情報システム株式会社（本社：神奈川県川崎市川崎区日進町 1-53、取締役社長：澤田 晃三、以下：TJ）と株式会社ネットディメンション（本社：東京都港区虎ノ門 5-3-14、代表取締役：林 徹、以下：ND）、は組込み機器向けの 3D マルチメディアコンテンツエンジンの「MatrixEngine embedded」の販売連携及び開発連携を発表しました。

MatrixEngine embedded は、組込み機器向け業務用 3D マルチメディアコンテンツエンジンです。最近、組込み市場でも、液晶ディスプレイが搭載されている組込み機器の種類が増えてきており、より見栄えがよく、わかりやすくしたいというニーズが大きくなってきています。また、限られた大きさのディスプレイに、多くの情報を表現したいというニーズもあり、2D から 3D への移行が始まっています。ハードウェア面でも、CPU やグラフィックチップの性能が飛躍的に向上しており、3D を採用する企業が増えてきています。そういったニーズに応えるべく、MatrixEngine SDK と MatrixEngine embedded で、組込み市場向けにソリューションを展開すると発表しました。

「MatrixEngine embedded」の特長は

- ・ 次世代 HMI を実現  
GUI やマニュアルへの利用で、よりリッチで判り易い HMI を提供。
- ・ 軽量（約 300KB）・軽快な 3D マルチメディアコンテンツエンジン  
3D の動画・静止画の表示や音声の再生等、マルチメディア機能を提供。
- ・ CPU 負荷軽減を実現  
ローエンドからハイエンドまでの組込み機器に適用可能。
- ・ 再利用性の高い開発環境と開発効率の向上  
オーサリングツール（MatrixEngine SDK）の利用で、開発効率と再利用性が向上。

また、MatrixEngine embedded の原型である MatrixEngine は、PC用として、Web、インフォメーション、プレゼンテーション、レイアウトシステム等の分野で広く活用されています。また、2006年度の Interop Tokyo 2006 Best of Show Award ベンチャー部門グランプリ受賞、IPA ソフトウェア・プロダクト・オブ・ザ・イヤー2006 受賞、東京都ベンチャー技術大賞奨励賞受賞、と、市場から期待されている商品です。

TJ は、NDと技術連携し、付加価値商品（IP）を開発し、カーナビ、デジタル家電、携帯電話、アミューズメント、キオスク端末等の分野に販売する予定です。

2010年度に10億円の売上を目指します。

#### 株式会社ネットディメンションについて

株式会社ネットディメンションは、クリエイターノウハウをシステム化し、特に業務用3Dアプリケーション開発にオーサリングツール技術「MatrixEngine（マトリックスエンジン）」を展開する日本の開発メーカーです。すでにPCの分野では、空間情報提供3Dシステムや、医療用3Dコミュニティ、eラーニング、Webゲームなど、各種3Dソリューションを提供しています。同技術を embedded システム向けに展開を始めており、カーナビ、LSI など、各種メーカーとの協業を推進しています。

#### 東芝情報システム株式会社について

東芝情報システムは、1962年の設立以来、業界で常に最先端の技術を駆使し、情報サービス分野のリーディングカンパニーとして企業および社会の多様な情報化ニーズに应运ってきました。エンベデッドシステム・ソリューション、Web ソリューション、SI ソリューションの3つのソリューションを中心にお客様の総合 IT パートナーとしてお役に立ちたいと考えております。

特にエンベデッドシステム・ソリューショングループは携帯電話、情報家電、車載情報機器などの高度化する情報機器向けの組込みシステムにおいてシステム LSI 設計、各種ドライバー、プラットフォームからアプリケーションまでの開発業務やライセンス販売サービスをご提供しております。

東芝情報システム株式会社

エンベデッドシステム営業事業部 営業第一部 佐野

電子メール： n.sano@tjsys.co.jp

Tel : 044-246-8159